

スポーツ振興について (2)

次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実について

1 今年度の取組方針

子どもの体力向上に向けて、運動やスポーツをすることの大切さを伝えるとともに、より多くの児童生徒が楽しいと感じ、また、自身の成長を感じることができ、運動への愛好的な態度が高まる授業づくりを目指し、体育授業の工夫・改善をはじめとする取組を進める。

2 主な取組

(1) 幼児期の運動遊び促進

幼児の運動能力等調査により実態を把握し、幼児期運動指針に基づいた運動遊びを推進する。また、指導者研修会の実施や実践事例集による運動遊びの促進を図る。

(2) 子どもの体力向上推進

令和 5 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、本県の小中男女の体力合計点は、前年度に比べて小学校男女、中学男子で上回る結果となった。引き続き子どもの運動への愛好的な態度を高め、運動の習慣化を図り体力向上に繋がるよう、教員の指導力の向上と体育授業の充実を図る。

(3) 部活動に関する事業・取組

部活動指導員の配置

顧問の教員と連携して技術的指導を行う外部人材を部活動指導員として配置し、教員負担の軽減とともに生徒が専門的な指導を受けることで技能や意欲の向上へ繋げていく。

< 運動部 部活動指導員配置数 (R5 実績 中学校 : 82 名、高等学校 : 35 名) >

部活動の地域移行等に向けた取組

令和 5 年度は、県内 8 市町 (彦根市・長浜市・近江八幡市・東近江市・米原市・竜王町・豊郷町・多賀町) で実証事業を実施するとともに、「滋賀県における学校部活動の地域連携および地域クラブ活動への移行に向けた方針」をも令和 6 年 3 月に策定した。

令和 6 年度は、県内 10 市町で課題検証や成果の普及を図るとともに、策定した県の方針を基に、地域の実情に応じた部活動の地域連携・地域クラブ活動等への移行を進めていく。

(4) 中体連・高体連活動振興事業補助

県中体連、高体連等が開催する各種体育大会を補助することにより生徒の日頃の練習の成

果や活躍の場の確保に努めるとともに体育・スポーツ活動の充実・振興に繋げる。

(5) 全国中学校駅伝大会の開催

希望が丘文化公園を主会場として開催する全国中学校駅伝大会（例年 12 月に実施）について、令和 8 年度までは本県での開催計画となっており、次代を担うジュニア世代の育成を図るとともに湖国滋賀の発信に繋げる大会とする。

(6) 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催

令和 8 年度に近畿ブロックでの全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催において、本県では 7 競技の開催を予定しており、高校生の積極的な活動を通して、未来を拓く心豊かでたくましい人づくりと活力ある地域づくりの契機とする。

3 第 79 回(2025 年度)国民スポーツ大会に向けた取組

- 文化スポーツ部（国スポ・障スポ大会局）のターゲットエイジに対する事業実施に協力し、中学校、高等学校の現場の声を聞き取り、連携の強化に努める。
- 2025 国スポ強化拠点校については、指定を受けた部活動の顧問と競技団体との連携を密にし、学校として活動支援に努める。